

2017年1月11日
日興アセットマネジメント株式会社

「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」は、2017年1月10日に決算を行ないました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのコメントをご紹介します。

当期の分配金と設定来の基準価額推移



<当期の分配金>

分配金 (税引前、1万口当たり)	0円
基準価額(1万口当たり) 2017年1月10日現在	9,297円

<基準価額の推移>



※ 基準価額は信託報酬(年率1.3392%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。

今後の分配金額につきましても、引き続き、収益分配方針に基づいて決定してまいります。
今後も、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしく御願ひ申し上げます。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

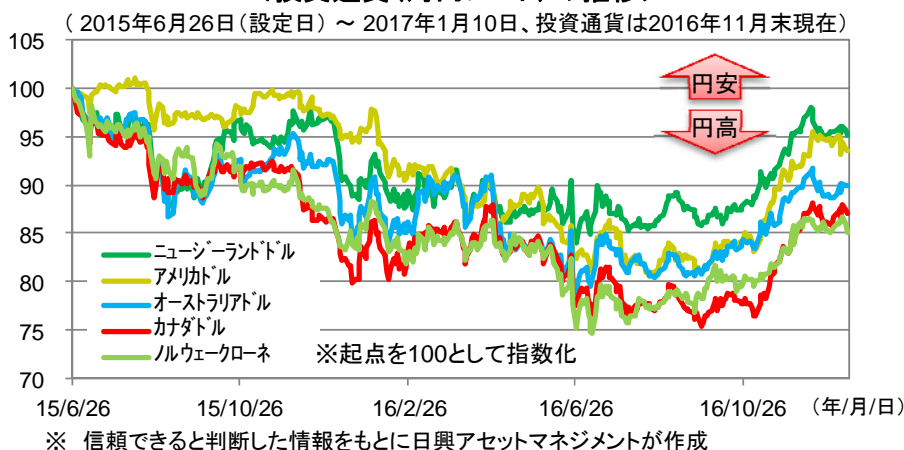
■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

運用概況と投資国の見通しについて



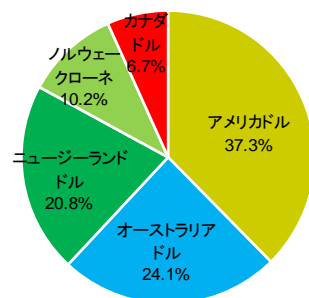
- 今期(2016年7月12日～2017年1月10日)は、各国の金融政策や米大統領選などの動向に大きく影響される投資環境となりました。2016年9月に、日銀が新たな金融政策の枠組みの導入を決定したことや、米利上げ観測の高まりなどを背景に、円が主要通貨に対して売られ、さらに11月の米大統領選以降にも円安が大きく進行したことから、当ファンドの今期の為替収益はプラスとなり、パフォーマンスを押し上げました。一方で各国の長期金利が上昇したことから、債券のキャピタル収益はマイナスとなりました。
- 6月に行なわれた英国の国民投票においてEU(欧州連合)離脱が支持されたことを受け、同国経済に対する不透明感が高まったことから、当ファンドでは、7月に英ポンド建て債券を全て売却し、新たにカナダドル建て債券を組み入れました。産油国であるカナダは、原油価格の大幅下落による経済の低迷から回復傾向にあり、今後は財政政策による経済の活性化と原油価格の回復によって、英国を上回る成長を遂げるものと期待されます。
- 11月の米大統領選においてトランプ氏が勝利したことで、市場では大規模な財政政策による経済成長の促進への期待が高まりました。そのため、選挙後は株式が買われた一方、債券が売られ、米10年国債の利回りは急上昇しました。ただし、こうした政策が実行されるには時間がかかるため、今後の利回り水準は幾分安定的に推移するものと考えます。また12月には、米国で1年ぶりとなる利上げが決定されました。同時に発表された政策金利見通しでは、2017年の想定利上げ回数が引き上げられたものの、FRB(米連邦準備制度理事会)は今後の金融政策について、引き続き緩やかなスタンスを示しています。
- オーストラリアでは、通貨の下落や過去最低水準にある政策金利が景気を下支えしており、資源価格の回復と相まって、2017年には経済の持ち直しが見込まれています。またニュージーランドでは、インフレ率改善に向けた利下げが段階的に行なわれ、こうした景気刺激策が同国の堅調な経済成長を後押しするものと期待されます。ノルウェーでは、原油価格の下落によって減速した経済に回復傾向がみられ、比較的堅調な労働市場や住宅市場の伸びにより、インフレ率は先進国の中でも最高水準となっています。

<投資通貨(対円レート)の推移>



<実質通貨別投資比率>

(2016年11月末現在)



※ 上記は当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。